

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
色合わせゲーム	中	国語・数学 Hグループ (数学)	

<ねらい>

- ・活動の方法が分かり、見通しをもって取り組むことができる。
- ・ボールの色とレーンの色を対応させることができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・対応関係の学習として、カラーボールを同じ色のレーンに転がす教具を作成した。
- ・作成方法は、プールスティックを半分に切り、繋げてレーンを作成した。傾斜をつけるため、レーンの端に金属製のスタンドを取り付けた。期待感をもって取り組めるようレーンの終わりにベルを配置した。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

○良かった点

- ・生徒達は、活動に見通しをもって取り組むことができていた。
- ・楽しみながら、対応関係の学習に取り組むことができていた。

○改善点

- ・カラーボールがレーンから落ちてしまうことがあるため、対策が必要。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・プールスティック（セリア）
- ・スタンド（セリア）
- ・ベル（ダイソー）

